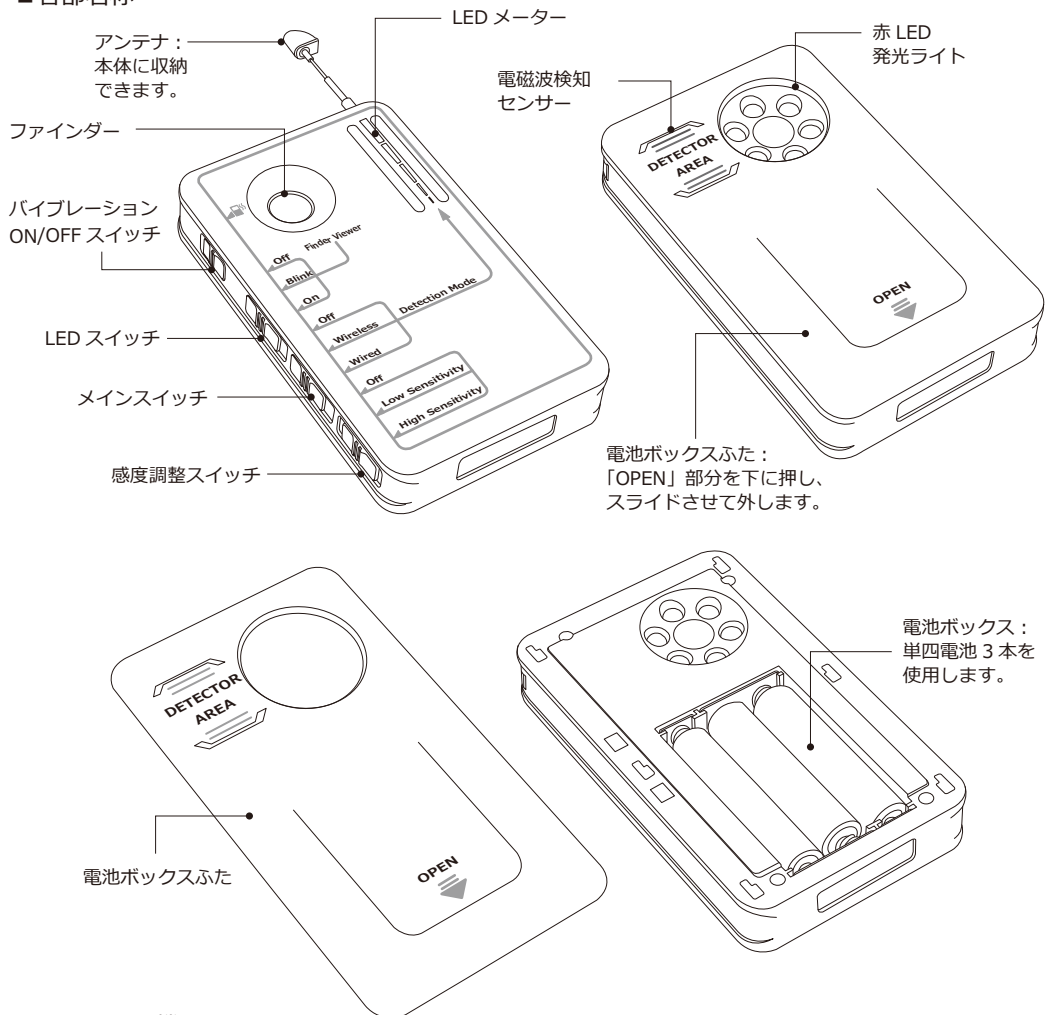


SCH-80 盗撮カメラ発見器 - 有線式・無線式対応 -

SCH-80 は、有線・無線式の盗撮カメラに対応する盗撮発見器です。レンズの反射を利用してカメラの位置を特定する「LED 発光モード」、無線式カメラの電波を検知する「電波検知モード」、そしてカメラやその他映像機器等が発する電磁波を検知する「電磁波検知モード」を兼ね備えています。

■各部名称



■SCH-80 の機能

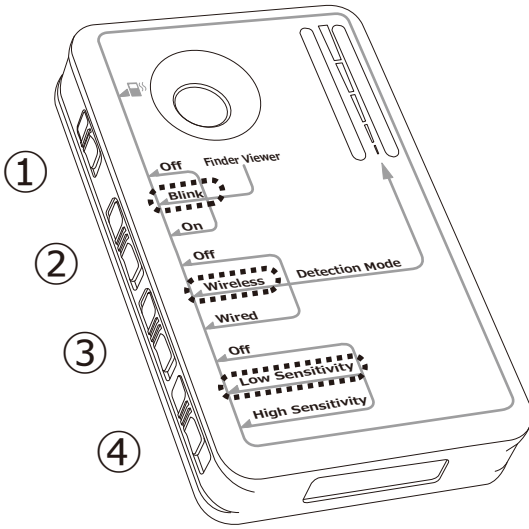
LED 発光モード	本体から赤い LED 光を照射し、それをカメラのレンズに反射させる事によりカメラの位置を特定します。SCH-80 のメイン機能です。
電波検知モード	室内に存在する電波を検知し、発信源の大よその位置を割り出します。※1
電磁波検知モード	映像機器が放出する電磁波を検知し、カメラの有無を判断する手助けをします。※2

※1 電波状況により過剰な反応が出る場合があります。その際は、LED 発光モードを使って発見作業を行ってください。

※2 カメラによっては反応が出ない場合があります。念のため LED 発光モードも併用してください。

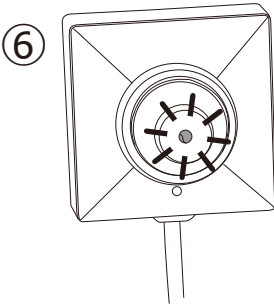
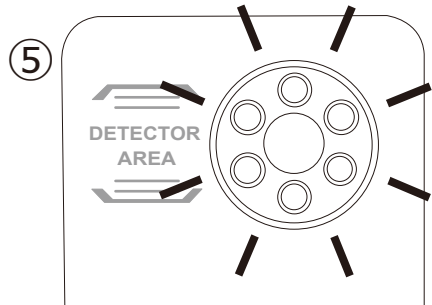
■LED 発光モードを使う

下記手順に沿って操作してください。

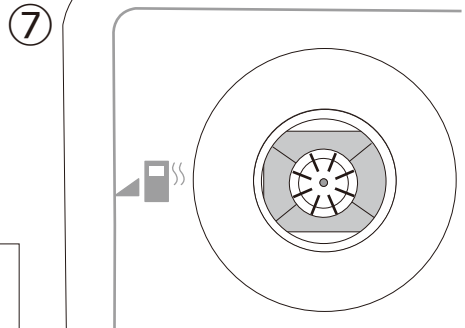


1. バイブレーションスイッチを上スライドさせ、OFF にします (①)。
2. LED スwitch を「Blink」に合わせます (②)。
3. メインスイッチを「Wireless」に合わせます (③)。SCH-80 の赤 LED が点滅を開始します。
4. 感度調整スイッチを「Off」にします (④)。
5. SCH-80 の赤 LED 光を室内の壁等に照射します (⑤)。照射しながら、SCH-80 のファインダーを覗いてください。

6. 隠しカメラのレンズ部に、SCH-80 の赤 LED 光が反射するとレンズ部が点滅したように見えます (⑥)。
7. SCH-80 のファインダーには、赤いフィルターが装着されており、それを通して見るとレンズの反射がはっきり分かります (⑦)。



警告 LED の光は絶対に直視しないでください。

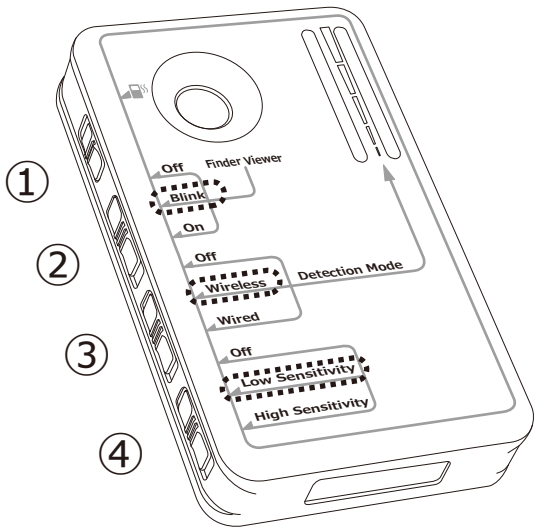


ファインダー越しに覗くとレンズの反射が良く分かります。

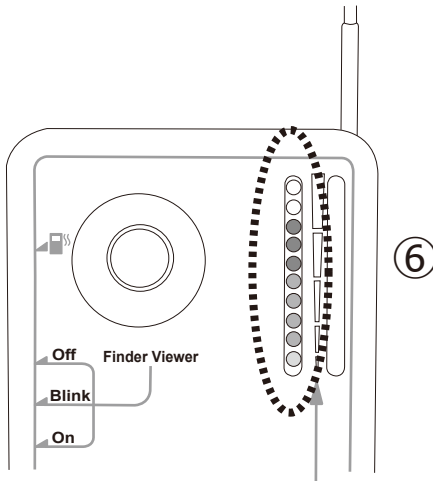
※SCH-80 の LED 光照射距離は 10m 程度です。
 ※カメラのレンズは、赤 LED 光が正面から当たった時に一番良く反射します。斜めから照射した場合、反射しないことがあります。
 ※発見作業をする場合、調査対象エリアをいくつかの区域に区切って行う事をお薦め致します。

■電波検知モードを使う

下記手順に沿って操作してください。



1. バイブレーションスイッチを下にスライドさせ、On にします (①)。※Off でも結構です。
2. LED スイッチを「Off」に合わせます (②)。
3. メインスイッチを「Wireless」に合わせます (③)。
4. 感度調整スイッチを「Low Sensitivity」にします (④)。数秒程バイブレーションが作動し準備が完了します。バイブレーションを Off にした時は作動しません。
5. 本体右上に収納されているアンテナを引き出して伸ばします (⑤)。全部引き出してください。



警告 アンテナは繊細に出来ています。取扱いにご注意下さい。

6. 電波を検知すると本体の LED メーターが点灯します。強い電波を受信すると LED が多く点灯します (⑥)。「Low」で全く反応が無い場合は、感度切替スイッチを「High Sensitivity」にしてください。

7. 壁面や家具などを撫でるように SCH-80 を操作します。LED の点灯数やバイブレーションが変化または動作した時、その近辺を隈なく目視で確認します。時に LED 発光モードを使って確認してください。

※盗撮カメラ以外で電波を発する物には次の様な物が有ります。反応したからといって、すぐに盗撮電波だと判断せず、LED 発光モードも使って確認をしてください。

- ・テレビ、パソコン、プリンタ、FAX など
- ・蛍光灯、電子レンジ、冷蔵庫など
- ・ラジオ局などの公共電波

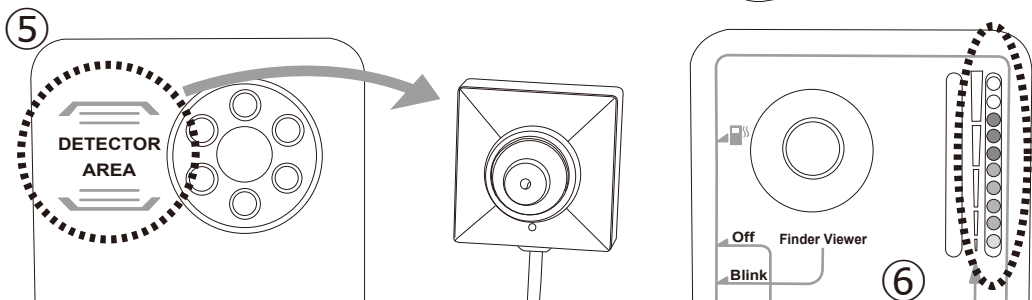
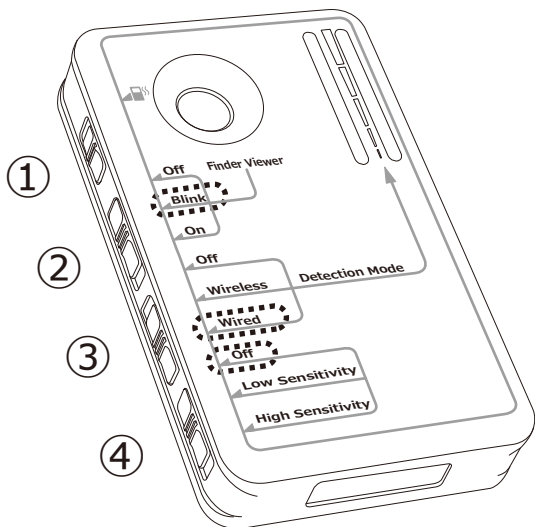
※大都市などでは、電波環境により常に反応をすることがあります (例：秋葉原など)。そのような時は、LED 発光モードを使い発見作業を行って下さい。

※発見作業をする際、調査対象エリアをいくつかの区域に区切って行う事をお薦め致します。

■電磁波検知モードを使う

下記手順に沿って操作してください。

1. バイブレーションスイッチを下にスライドさせ、On にします (①)。※Off でも結構です。
2. LED スイッチを「Off」に合わせます (②)。
3. メインスイッチを「Wired」に合わせます (③)。
4. 感度調整スイッチを「Off」にします (④)。青 LED が 1 つ点灯した状態になります。
5. 本体の電磁波検知センサー (DETECTOR AREA) を、スマホ等に近づけてテストをしてみてください (⑤)。反応があると、本体の LED メーターが点灯しますので、その周辺を目視で確認します (⑥)。必要に応じて LED 発光モードを使って確認してください。



- ※かざす角度により反応が出ない場合がありますが、機器の異常ではありません。
- ※カメラにより反応が出ない場合があります (電源が入っていないカメラ、極端に省電力なカメラなど)。
- ※カメラとレコーダーが分離した映像機器の場合、レコーダーに強く反応する場合があります。
- ※映像機器以外にも、家電で電磁波を放射する物もあります (蛍光灯、電子レンジ、冷蔵庫など)。

SCH-80 製品仕様

対応周波数帯	20MHz ~ 6GHz
電 源	単四アルカリ電池 x 3 本
電池寿命	18 時間 (メイン機能 LED 発光モード点滅時)
寸法・重量	95 x 51.5 x 19.3mm / 107g (電池含む)